



NPO法人 札幌チャレンジド

ITでマザル、ハタラク、拓き合う。

特定非営利活動法人 札幌チャレンジドのご紹介



ITでマザル・ハタラク・拓き合う
社会を創ります。

Ver.2023.04



◆ 団体理念 ◆

自立をめざすチャレンジド※1が
「ITでマザル・ハタラク・拓き合う」
社会を創ります。

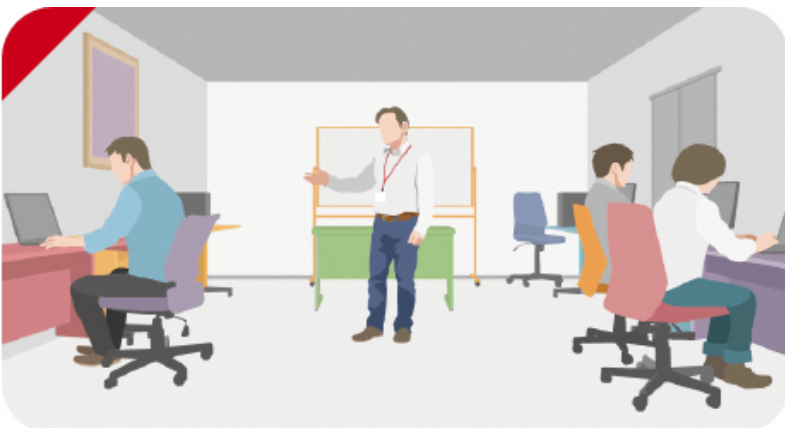
◆ 経営理念 ◆

- 社会的価値を実現する
(社会性の追求)
- 事業を興してお金の循環を生み出しながら活動する
(事業性の追求)
- 常に時代を先取る革新的なことに挑戦する
(革新性の追求)

※1：チャレンジド (Challenged)とは
「神からチャレンジすべき課題や才能を与えられた人」という意味が込められている新しい英語です。

札チャレで、ハタラク

◆就労継続支援A型事業



ITで、マザル・マナブ

◆パソコン講習事業

企業で、ハタラクを目指す

◆就労移行・就労定着支援事業



札チャレで、マナビ、拓き合う

◆放課後等デイサービス事業



『キャリアデザインセンター※2』
として活動しています

※2：キャリアデザインとは、自分の仕事（働くこと）について自身の個性や興味などを踏まえて自ら道筋・目標を描いていくことです。



札幌チャレンジドのポイント

◆ キャリアデザインセンター ◆

事業を開始して20年が経過した事業系のNPO法人です。
各事業が連携して、自立をめざすチャレンジドのための「キャリアデザインセンター」※2として活動しています。

◆ 全国から支持されている就労継続支援A型 ◆

就労継続支援A型は、全国的にも稀な本格的なパソコン系の就労事業所で、企業様からの様々な受託業務内容とチャレンジドの方とのマッチングを図りながら通所、在宅、テレワークでハタラク支援をしています。

◆ 高い就職率・定着率の就労移行・就労定着支援 ◆

就労移行支援・就労定着支援では、一人ひとりに寄り添った支援により、高い就職率、長く働く定着率を維持しています。

◆ マンツーマン指導の放課後等デイサービス ◆

放課後等デイサービスでは小学（高学年）～高校生までのこどもたちの、卒業後の「ハタラク・就労」を見据えた個人こじんのレベルに合わせ『マンツーマン』でITスキル・コミュニケーションを本格指導しています。

◆ 視覚障がい者も対象としたパソコン講習 ◆

障がい種別を問わず、初心者から上級者向けまでのパソコン講習を開催しています。
また、視覚障がいの方が使い易い各種ソフトの販売と操作の講習会を行っています。



札幌チャレンジドの沿革

年月	概要
2000年 5月	任意団体として設立
2001年 4月	NPO法人格取得
2002年 4月	北海道NPOサポートセンター内に事務所を開設
2003年 10月	札幌ビルに事務所を移転、常設講習会場を開設
2003年 10月	札幌市障がい者ICTサポートセンター事業を受託 ※旧：札幌市障がい者ITサポートセンター
2006年 5月	厚生労働大臣より全国第一号で「在宅就業支援団体」として登録 ※2021年3月 登録終了
2006年 10月	就労継続支援A型事業を開始
2011年 8月	北苑ビルに事務所を移転
2011年 11月	就労移行支援事業を開始
2017年 4月	放課後等デイサービス事業を開始
2018年 4月	就労定着支援事業を開始

〈TOPICS-01〉

札幌チャレンジドは高校の教科書、「高校政治・経済」に「社会的企業の事例」として掲載されました。



※実教出版
平成25年3月検定
平成27年1月発行



NPO法人札幌チャレンジド	パソコンを通じた障がい者自立支援
有限会社ビッグイシュー日本	雑誌販売によるホームレス自立支援
NPO法人フローレンス	病児保育で子育て支援
株式会社藍水社	中高生向け地域密着型キャリア教育
NPO法人G-net	企業や大学と連携したインターンシップ
NPO法人あいでん舎	携帯電話による安価な通訳サービス
株式会社吉田ふるさと村	住民参加型村おこし運動
有限会社やんばる自然塾	地域主体のエコツーリズム
株式会社にんじん	規格外野菜の有効活用
NPO法人循環生活研究所	生ゴミリサイクルで地域再生

●社会的企業の事業例

〈TOPICS-02〉

2019年11月 総務省 令和元年度「テレワーク先駆者百選」入選
2020年10月 就労継続支援A型事業所全国協議会「優良A型事業所認定」

〈主な受賞歴〉

受賞年月	受賞概要
2003年 6月	北海道の情報通信の発展に貢献した「北海道総合通信局長賞」を受賞
2004年 1月	北海道福祉のまちづくりコンクール「第1回ソフト部門奨励賞」受賞
2009年 3月	経済産業省「ソーシャルビジネス55選」受賞
2015年 1月	高校「政治・経済」教科書に掲載
2016年 11月	社会貢献支援財団「社会貢献支援者」表彰受賞
2019年 11月	総務省「テレワーク先駆者百選」に選定される
2020年 10月	就労継続支援A型事業所全国協議会「優良A型事業所」認定





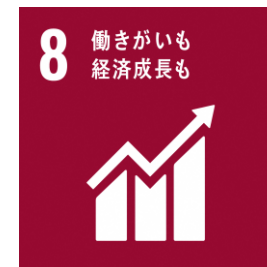
札幌チャレンジのSDGsの取り組み



ITでマザル
・ハタラク・拓き合う
社会を創ります



障がいのある
中高生から
大人まで人材育成に
寄与します



社会的企業として
事業を通じて
社会課題の解決に
貢献します



障がいのある人への
合理的配慮を実践
& 推進していきます



企業、行政、NPO,
ボランティアなど多様な
組織・人と連携します



SDGs
(SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS) とは

☆SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年9月に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなります。2030年までに達成すべき目標として、地球規模の優先課題や世界のあるべき姿を明らかにしています。

◆ 合理的配慮 ◆

全てのチャレンジの方が毎日通える環境づくり

①入口の外側にスライドドアを外付け



②聴覚障害者からの声をうけて追加貼付



③講師も受講者も車椅子



④木のぬくもり、やさしさのパーテーション
集中できるようにちょっと広めに

⑤車椅子の人の席
カーペットに配慮



⑥視覚障害者に配慮したフローア



⑦手すりに点字シール



⑧弱視の人も見やすいように





就労グループ[°]

(就労継続支援A型)

- ◆ **企業等での就労が困難な方、働く意欲のある障がいのある方を対象に、雇用契約を結んだ上で就労の機会を提供する「障がい福祉サービス」です。**
- ◆ **雇用契約を結ぶことが難しい期間でも、非雇用で働きながらスキルや体力を身に付けて、身に付いた時点で雇用契約を結び就労する働き方もあります。**



◆ 札チャレ就労継続支援 A 型の特長 ◆

- メンバー1人ひとりの障がい特性を理解した上で、継続して働きやすい業務の配置・対応・環境づくりに努めています。
- 基本的には「**通所**」での業務になります。
事情により継続的に「通所」ができない理由がある方については「**テレワーク就労**」、「**通所/テレワーク混合**」などの個別調整も検討します。
- 今すぐ「**雇用契約**」での就労に自信のない方は、「**A型サービス利用**」（非雇用）で働きはじめ、スキルや体力を身に付けてから「雇用契約」での働き方もあります。

※ご希望に添えない場合もございます。

◆ 企業のような環境づくり ◆

- 「**福祉サービス利用者**」<「**障がいのある社員**」として1人1人を位置づけしメンバーのハンディキャップ部分の補完、キャリアアップのしくみをつくりながら、仕事を通じて社会に関わっていくことへの尊厳や誇りを実感できる働き方づくりに努めます。

パソコンを使った多様な業務

民間企業を中心に様々な業務を定期的に受託しています。基本的にはワークシェア型業務が中心です。



① 動画監視

動画サイトに投稿された内容について確認を行います。



② Webアクセシビリティ検査

検定資格を取得後、検査員としてホームページの検査業務を行います。



③ 海外航空券予約サイト DB 入力

指定された条件に沿って、航空券に関わる各種データ入力や翻訳業務等をおこないます。



④ アノテーション業務

教師データ作成。AIに学習させたいデータに意味付け(タグ付け)を行います。



⑤ 各種データ入力

お取引先から指定された条件に沿ってデータを管理・入力します。



⑥ イラスト・デザイン制作

キャラクター、ロゴ、挿絵をはじめポスターやチラシデザイン等を作成します。

…他にも様々な業務があります。



札チャレで、ハタラク —就労継続支援A型事業—



就労グループ

◆定員30名 <通所・在宅>

※利用者数：**34名** / **内在宅12名** (2023/4)

男性19名・女性15名

身体	:	13名 (38.2%)
精神・発達	:	17名 (50.0%)
知的	:	3名 (8.8%)
難病	:	1名 (2.9%)

※1.障がい種別は問わず受け入れ

※2.自立医療（手帳なし）の方も利用可能

◆利用体系◆

①雇用契約/社会保険加入者

雇用保険：※週**20**時間以上の安定した勤務：**22名 (64.7%)**

社会保険：※週**30**時間以上の安定した勤務：**4名 (11.8%)**

②A型サービス利用者：**12名 (35.3%)**

※20時間以上の勤務が可能か、作業能力がマッチングしているかを把握

※3.利用体系は本人の実力重視



移行グループ

(就労移行支援・就労定着支援)

◆就労移行支援◆

・企業で働く意欲のある障がいのある方を対象に、就職に向けてパソコン講習やコミュニケーショントレーニングなどを行う「障害福祉サービス」です。

◆定員**10名** ※利用者数：**9名**
(2023/04)

身体 : **4名 (44.4%)**
精神・発達 : **3名 (33.3%)**
知的 : **2名 (22.2%)**

◆就労定着支援◆

・就労移行支援、就労継続支援等を利用し、一般就労に移行した障がいのある方の、就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、企業・家族との連絡調整等の支援を一定の期間に渡り行うサービスです。

※利用者数：**9名** (2023/04)



◆ 札チャレ就労移行支援の特長 ◆

企業への就職を目指します。

～ あなたに寄り添って二人三脚で支援！ 就職後も安心フォロー！ ～

◆ こだわりポイント ◆

● 心地よさに気づくコミュニケーション講習

毎週、コミュニケーションの先生と共に“心の交流”を行っています。

様々なエクササイズを通して、同じ場所にいる一人ひとりが違うこと、違っていいことに気づき、認め合う心を育てます。

安心して話せる場所に、安心して話せる仲間がいる。そして、心地よさは本物のコミュニケーションにつながります。メンバーが好きなプログラムのひとつです。

● 充実したパソコン講習

ベテランの講師によるパソコン講習を毎週開催し、復習もしっかりと行います。

Windowsの基礎からOfficeソフト応用までを少人数でしっかりと学べます。プレゼンテーションやOffice実践講習で、実践力もつきます！

資格取得希望の方は、検定対策講座を受講して、日商PC検定試験を札幌チャレンジド内で受けることができます。慣れた教室で、学習から合格までを目指せます。



訓練プログラム

◆スキルアップ訓練

- ・パソコン講習（基礎～応用）
- ・Word,Excel,PowerPoint（基礎～応用～実践）
- ・日商PC検定、サーティファイ検定取得
- ・ビジネスマナー
（挨拶、言葉遣い、電話応対、来客応対、メモの取り方など）
- ・JST,SST

◆コミュニケーション訓練

- ・自分の心の声に気づき、自分らしく生きることを大切にしていきます
- ・自己肯定感を高め、人を思いやる心を大切にします
- ・専門の講師による訓練とスタッフによる訓練があります

◆就職活動に向けた訓練

- ・求人情報の見方、社会保険の学習
- ・履歴書・職務経歴書、自己PR書の作成
- ・面接練習
- ・職場実習など

◆グループワーク

- ・グループで協力して課題を解決しながら、協調性や自発性を養います

◆実務訓練

- ・文書作成
- ・データ入力
- ・テープ起こし
- ・書類発送
- ・電話応対など

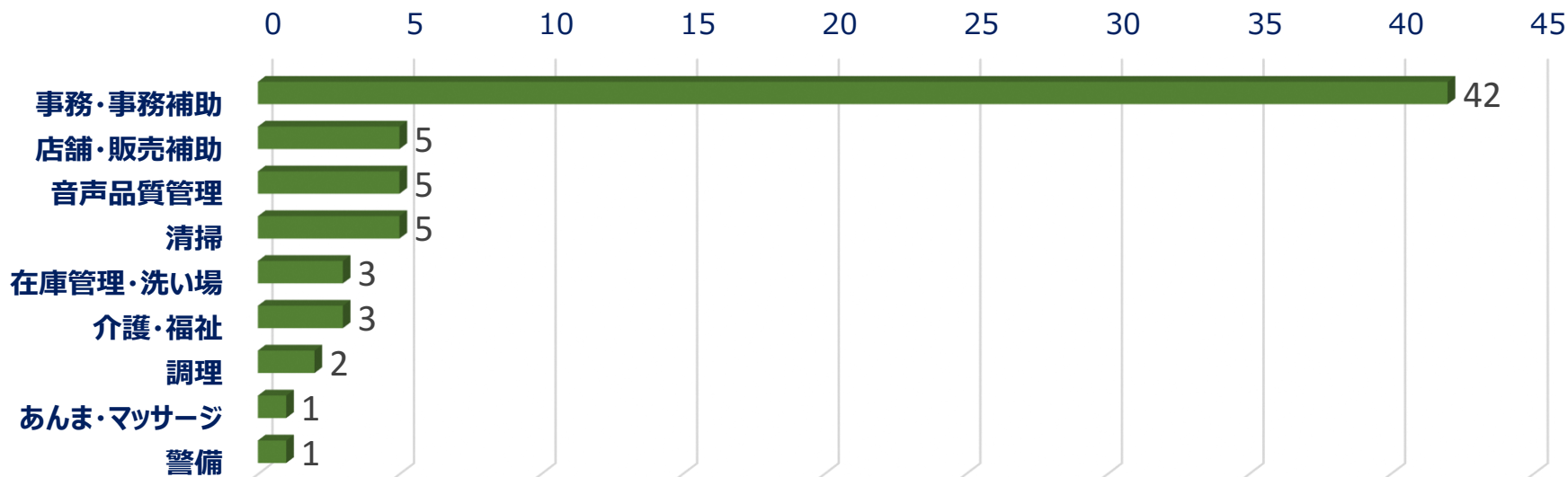
◆資格取得学習

- ・日商PC検定
- ・サーティファイ など

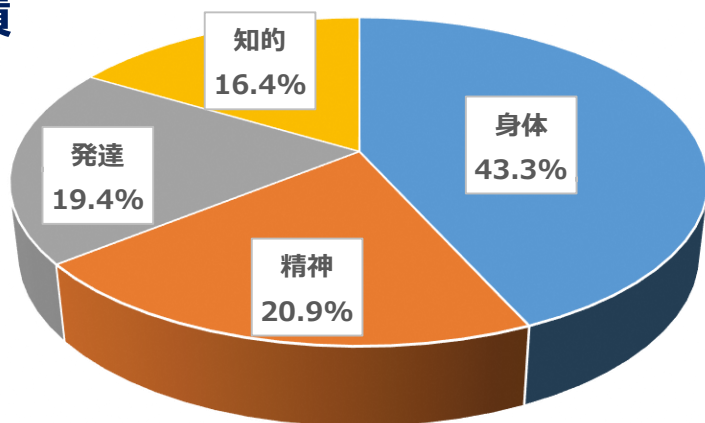
就職実績

◆職種別実績

・2012年4月～2023年3月
・就職者数 67名



◆障がい別実績



◆業種別就職実績

業種別就職先	人数	業種別就職先	人数
情報通信業	14	教育、学習支援業	2
サービス業	17	飲食店	2
医療、福祉	12	運輸業	2
卸売・小売業	8	複合サービス事業	2
公務員	3	金融・保険業	1
食品製造	4		
		合計	67



講習グループ (放デイ担当)

(放課後等デイサービス)

◆札幌チャレンジの放課後等デイサービスの特徴◆

障がいのある方への「ハタラク・マナブ」支援活動で培ったノウハウを基に、単にパソコンを指導するのではなく、**こどもたちの、卒業後の「ハタラク・就労」**を見据えた『**キャリアデザインコース**』などによる療育を実施しています。

◆**対象者**： 小学生（高学年）～高校生まで

◆**サービス時間**： 月曜日～金曜日：午後2時30分～午後6時30分
※1：春夏冬休み：午後0時30分～午後6時30分
※2：土日祝・年末年始は休業

◆**定員**： 10名 / 日 ※利用者数 **32名** (2023/04)

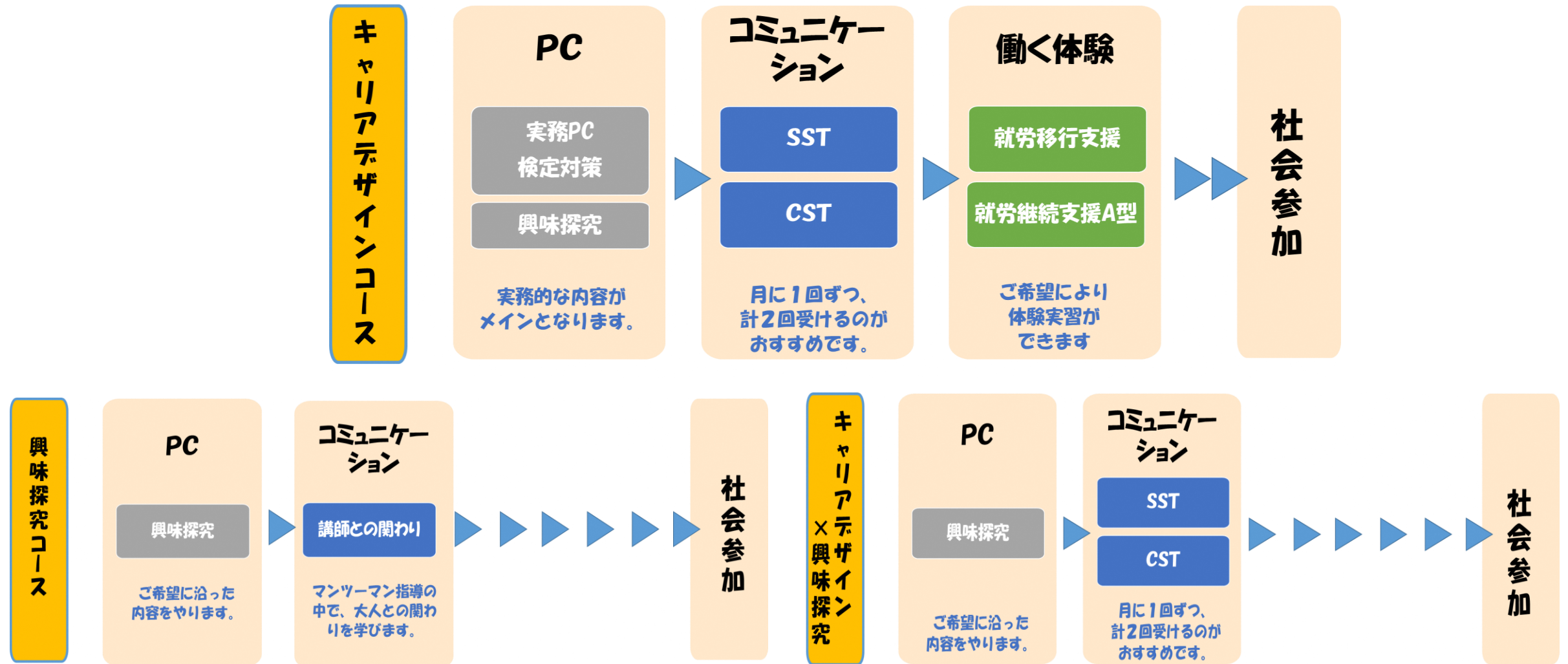
札幌チャレンジの『キャリアデザインコース』

対象：
高校生～

◆「パソコン」と「コミュニケーション」のトレーニングでハタラク・就労に備えます

<p>《パソコン》</p>	<p>実務で必要とされるパソコンの技術（ワード、エクセル）を指導します。</p> <p>§指導概要：①実務PC ②検定対策 ③模擬検定試験</p>
<p>《コミュニケーション》</p>	<p>コミュニケーションに対する不安に対処し、自己肯定感を高めて社会・職場環境に対応できることを目指します。</p> <p>§指導概要：①コミュニケーションスキル・トレーニング（CST） ②ソーシャルスキル・トレーニング（SST）</p>
<p>《実習・就労体験》</p>	<p>希望と適性により、札幌チャレの「就労移行支援」「就労継続支援」での実習・就労体験が受けられます。（休み期間を利用）</p> <p>§実習・体験概要：①一般就労を目指すかた向けの職業訓練 ②働く場としてのA型事業所でのパソコン実務</p>

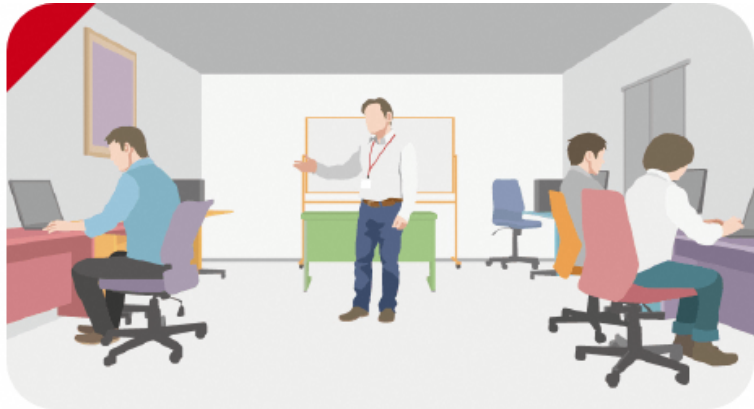
◆「キャリアデザインコース」と「興味探究コース」の講習イメージ◆





◆札幌チャレンジの放課後等デイサービス◆

- マンツーマンの指導で生徒それぞれの個性に対応します
- 指導の対話からゆるやかなコミュニケーションを実施します
- パソコン学習内容
 - ・文書作成 ・表計算 ・動画作成 ・3Dモデリング ・プログラミング 等々こどもたちがパソコンでやりたいことを聴き、その内容を中心に一人ひとりに寄り添った講習を実施します
- 講師も学び、生徒一人ひとりの好奇心に寄り添います
- 高校生以上の生徒さんには、「興味探求コース」と「キャリアデザインコース」のコース選択を検討して頂きます
- 卒業後の「ハタラク・就労」の観点からも送迎は実施しておりません



講習グループ (講習担当)

(パソコン講習・視覚パソコン講習)

◆パソコン講習◆

- 札幌チャレンジドでは、障がいのある人を対象としたパソコン講習会を開催しています。
- 初心者向けから上級者向けまで、それぞれの障害に応じた様々な講習会です。
- 受講される方お一人お一人にしっかりと対応させていただくため、どの講習会も最大8名までの少人数で実施しています。

<講座例>

- ・ワード入門、基礎、応用
- ・エクセル入門、基礎、応用
- ・パワーポイント入門、基礎、応用
- ・住所録作成
- ・家計簿作成
- ・年賀状作成
- ・画像編集
- ・動画編集
- etc.

◆視覚障がい者向け講習◆

- 視覚に障がいをもっている方たちが音声パソコンを使いこなし、それまでよりも少し豊かで楽しみのある生活が送れるよう支援していきます。
- 音声読上げパソコンを設置した専用の講習会場で講習を行います。
- 視覚障がいの方がパソコンを学ぶには、お一人お一人の状況や経験によって講習内容を検討しますので、まずは、お気軽にご相談ください。

◆視覚ソフト販売&サポート◆

- 音声読み上げソフトや視覚障がいの方が使い易い各種ソフトを販売しています。
- 札幌チャレンジドは、日常生活用具（ソフトウェア）の販売事業者になっています。

※お気軽にお問い合わせください。

◆訪問講習◆

- 札幌チャレパソコン講習会に参加する事が困難な方
(講習会場まで来られるのが困難な方)
のために、個別に訪問講師をご紹介する訪問講習制度を実施しています。
- 札幌チャレンジドでは、より多くの方々にパソコンの訪問講習が受けられる環境を作っていきたいと考えています。

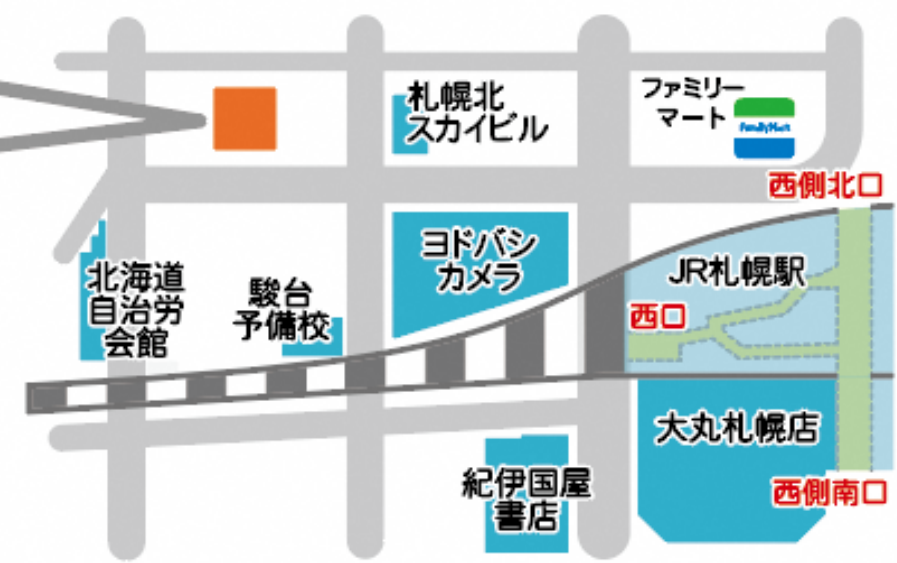
- ・札幌チャレンジドにお申込みください。
- ・講師には個別にお申込みできません。
- ・講師は、受講者の希望をお聞きしたうえで、札幌チャレンジドが選定します。

※訪問講習をご希望の方はご遠慮なく、札幌チャレンジドまでお問い合わせ下さい。
また、訪問講師の募集もしております。



NPO法人 ITでマザル、ハタラク、拓き合う。

札幌チャレンジド



[最寄駅]JR札幌駅・地下鉄南北線さっぽろ駅・地下鉄東豊線さっぽろ駅
[所要時間]JR札幌駅西コンコース北口から徒歩5分

特定非営利活動法人 (NPO法人)

札幌チャレンジド

〒060-0807

札幌市北区北7条西6丁目1番地 北苑 (ホクエン) ビル2階

TEL : 011-769-0843 / FAX : 011-769-0842

営業時間 : 月曜日～金曜日 午前9 : 30～午後5 : 30

※放課後等デイサービスは午後2 : 30～午後6 : 30

Mail: challenged@s-challenged.jp

URL: <https://s-challenged.jp/>

facebook: [sapporochallenged.mixcom](https://www.facebook.com/sapporochallenged.mixcom)